

1号機

・1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(1月8日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

1号機の原子炉注水設備においては、1月8日13時46分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月8日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了後に原子炉注水量を変更する

予定だったが、水中 ROV の装置不具合に鑑み、調査を一時中断することとした。これに伴い、

1月13日午後2時33分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月13日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査再開の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(1月27日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査再開の準備に伴い、1月27日午前11時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(1月27日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了に伴い、2月1日午後3時56分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月1日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(2月6日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査の準備に伴い、2月6日午後2時55分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月6日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。

また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。

(2月28日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

2月28日午前10時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月28日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。

2号機

・2号機原子炉格納容器ガス管理設備については、今後の原子炉格納容器内部詳細調査における、堆積物除去及び格納容器内の干渉物撤去に伴い、格納容器内のダスト飛散が懸念されるため、原子炉格納容器ガス管理設備のフィルタ出口にフィルタ付仮設局所排風機を設置することから、当該設備を停止して作業を行なう。

・当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画第1編第24条に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は1チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し作業を実施する。当該設備の停止予定日は以下のとおり。

<停止予定>

2月27日

・2月27日午後0時18分より特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し作業を開始した。

・2月27日予定していた作業が終了したことから午後1時5分に当該設備を起動した。

その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、午後3時40分に特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除した。

なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。

・2号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。

なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。

(2月28日の原子炉注水量変更予定:1.7 m³/h→3.0 m³/h)

(3月1日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→1.7 m³/h)

試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。

2月28日午後6時12分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月28日の原子炉注水量変更:1.7 m³/h→3.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

3号機

・3号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。

なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。

(2月21日の原子炉注水量変更予定:3.7 m³/h→4.0 m³/h)

(2月22日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

(2月24日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→3.7 m³/h)

試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。

3号機の原子炉注水設備においては、流量調整弁取替後の注水試験に伴い、2月21日午前10時47分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月21日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→4.0 m³/h)

2月22日午前午後0時48分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月22日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

2月24日午前11時36分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月24日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→3.7 m³/h)

3月1日午後7時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月1日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→1.7 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6エアータンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクB 1月1日午前10時16分～午後2時58分。排水量701m³
- ・一時貯水タンクC 1月2日午前10時16分～午後2時51分。排水量682m³
- ・一時貯水タンクG 1月4日午前10時17分～午後2時7分。排水量570m³
- ・一時貯水タンクJ 1月6日午前11時3分～午後4時30分。排水量814m³
- ・一時貯水タンクA 1月8日午前9時50分～午後3時42分。排水量873m³
- ・一時貯水タンクB 1月10日午前10時34分～午後4時47分。排水量928m³
- ・一時貯水タンクD 1月12日午前11時14分～午後4時7分。排水量729m³
- ・一時貯水タンクE 1月14日午前10時24分～午後3時7分。排水量703m³
- ・一時貯水タンクF 1月16日午前10時26分～午後2時51分。排水量658m³
- ・一時貯水タンクA 1月18日午前10時27分～午後2時53分。排水量660m³
- ・一時貯水タンクB 1月20日午前11時38分～午後4時28分。排水量718m³
- ・一時貯水タンクD 1月22日午前9時57分～午後3時9分。排水量774m³
- ・一時貯水タンクE 1月25日午前11時42分～午後4時28分。排水量709m³
- ・一時貯水タンクF 1月26日午前10時35分～午後3時1分。排水量659m³
- ・一時貯水タンクA 1月28日午前11時26分～午後3時40分。排水量630m³
- ・一時貯水タンクB 1月30日午前10時28分～午後2時49分。排水量647m³
- ・一時貯水タンクD 2月2日午前10時～午後1時58分。排水量574m³

- ・一時貯水タンクC 2月3日午前10時24分～午後2時35分。排水量624m³
- ・一時貯水タンクF 2月5日午前10時19分～午後3時43分。排水量805m³
- ・一時貯水タンクA 2月7日午前10時29分～午後3時39分。排水量770m³
- ・一時貯水タンクB 2月9日午前10時11分～午後3時27分。排水量787m³
- ・一時貯水タンクD 2月11日午前10時23分～午後3時50分。排水量811m³
- ・一時貯水タンクC 2月13日午前10時57分～午後3時50分。排水量728m³
- ・一時貯水タンクJ 2月15日午前11時51分～午後4時24分。排水量677m³
- ・一時貯水タンクA 2月17日午前11時41分～午後4時。排水量644m³
- ・一時貯水タンクB 2月19日午前10時32分～午後1時59分。排水量515m³
- ・一時貯水タンクE 2月20日午前10時55分～午後2時38分。排水量552m³
- ・一時貯水タンクF 2月22日午前11時10分～午後4時2分。排水量726m³
- ・一時貯水タンクJ 2月24日午前10時25分～午後3時7分。排水量698m³
- ・一時貯水タンクG 2月26日午前10時16分～午後1時31分。排水量484m³
- ・一時貯水タンクB 2月27日午前10時25分～午後1時58分。排水量527m³
- ・一時貯水タンクD 3月1日午前10時30分～午後0時56分。排水量360m³
- ・一時貯水タンクC 3月2日午前11時19分～午後3時48分。排水量667m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯留タンクグループ1 1月6日午前10時14分～午後5時7分。排水量1,878m³
- ・一時貯留タンクグループ3 1月12日午前10時11分～午後4時41分。排水量1,776m³
- ・一時貯留タンクグループ2 1月20日午前10時22分～午後3時54分。排水量1,522m³
- ・一時貯留タンクグループ1 1月31日午前10時2分～午後4時27分。排水量1,738m³
- ・一時貯留タンクグループ3 2月1日午前10時9分～午後4時50分。排水量1,811m³
- ・一時貯留タンクグループ2 2月8日午前11時59分～午後6時24分。排水量1,787m³
- ・一時貯留タンクグループ1 2月15日午前10時17分～午後4時43分。排水量1,755m³
- ・一時貯留タンクグループ3 2月22日午前10時29分～午後4時31分。排水量1,634m³
- ・一時貯留タンクグループ2 3月2日午前10時25分～午後4時8分。排水量1,574m³

<特記事項>

＊地下水バイパス貯留タンクグループ1の排水を1月25日に予定していたが、循環運転中にタンク水位に若干の上昇が見られたことから中止した。なお、原因は調査中。

地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の排水前の循環運転時に水位上昇した件について調査を行った結果、グループ1とグループ3を連結している循環ラインの入口弁のシートパスが原因であることを確認。

その後、当該弁の開閉操作を実施し再度、循環運転を行ったところ、水位に変動がないことを確認。

当該タンク水については、再度分析を行い、結果を確認したうえで排水を行う予定。地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による再分析した結果、共に運用目標値を満足していたことから、1月31日に排水を実施する。

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

・1月15日午前1時10分頃、発電所構内において、パトロール中の協力企業作業員が階段を踏み外して左足を負傷した。入退域管理棟救急医療室にて、「左足関節部骨折の疑い」と診断され、1月16日、医療機関にて「左足関節三果骨折」と診断され手術を行う予定であり、休業を要する災害と判断したため、お知らせする。

状況は以下のとおり。

- ・発生場所 : 発電所構内 6号機原子炉建屋(屋外)
- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : パトロール中階段を踏み外し負傷

【その他】

現時点での特記事項なし